

静岡ゆかりの画家たち

- 幕府御用絵師から
文化勲章受章者まで -

Artist in Shizuoka

主催：静岡県立美術館
協賛：JR東海
会期：平成14年2月1日(金)～3月31日(日)

静岡
ゆかりの
画家たち

北川民次
秋野不矩 中村岳陵
曾宮一念

2002年
2/1 Fri. ~ 3/31 Sun.

●開館時間 / 午前10時～午後5時30分
(入館は午後5時まで)
●休館日 / 毎週月曜日
ただし、2/11(日)は祝日、休館日とはなりません
●観覧料 / 一般・大人600円(400円)
小・中・高校生300円(200円) 70歳以上無料
※2002年2月1日(金)開館当日は、開館時間延長(午後5時30分～午後7時)を実施し、開館時間延長期間中は入館料を無料とさせていただきます。
※2002年2月1日(金)開館当日は、開館時間延長(午後5時30分～午後7時)を実施し、開館時間延長期間中は入館料を無料とさせていただきます。
※2002年2月1日(金)開館当日は、開館時間延長(午後5時30分～午後7時)を実施し、開館時間延長期間中は入館料を無料とさせていただきます。

幕府御用絵師から文化勲章受章者まで—
主催：静岡県立美術館
協賛：JR東海

好評! ロングラン企画

Shizuoka Prefectural Museum of Art
静岡県立美術館

ポスター

静岡
ゆかりの
画家たち

Artists in Shizuoka

カタログ

当館では、昭和61年の開館以来、静岡県ゆかりの美術家や、彼らに影響を与えた作家たちの作品収集に努め、県内美術界の回顧・展望を通じてその再評価を行ってきた。これまで、企画展として「静岡の美術」をシリーズ化し、曾宮一念、北川民次、中村岳陵、栗原忠二、石川欽一郎、秋野不矩、川村清雄、山口源と、8回にわたり開催している。本展覧会では、これら作家をすべて登場させて、改めて静岡という風光明媚な土地との関わりを考えてみた。富士山、三保松原など絵画の題材が豊富な静岡には、多くの画家が往来し制作してきた。心身を癒し、文化を育む場所だったといえよう。題材を求め静岡に来住した画家、この地から中央、世界へと飛躍した画家、地元の美術の発展に尽力した画家と、それぞれ特色はあるにしても、静岡は様々な芸術を育んできた。本展は、静岡ゆかりの画家たちを一堂に会し、その魅力を県内外の方々知っていただく機会となった。

カタログ

27.0×21.0cm 100p.

静岡の近代洋画 / 泰井 良 (当館学芸員)

静岡の日本画 / 森 充代 (当館学芸員)

作品解説 / 飯田 真、泰井 良、堀切正人、森 充代、
山下善也

関連年表、地図など

関連記事

静岡新聞 11月8日 朝刊「豪華な“絵画の県史” - 県立美術館 - 「静岡ゆかりの画家たち」展

関連事業

学芸員によるフロア・レクチャー

3月3日(日) 午後2時 - 展示室

講師 泰井 良、森 充代 (当館学芸員)

収蔵品展関連講座

2月10日(日) 午後2時 - 講座室

「彫刻鑑賞入門」 講師 堀切正人 (当館学芸員)

3月24日(日) 午後2時 - 講座室

「日韓美術事情いろいろ」

講師 李美那 (当館学芸員)

3月31日(日) 午後2時 - 講座室

「ミシャロンからコロヘ」

講師 小針由紀隆 (当館学芸課長)

特別企画

3月21日(木・祝) 午後2時 - 「日本画をじかにみる」 講師:山下善也 (当館主任学芸員) 他

担当学芸員: 泰井 良、森 充代

出品目録

	作者名	作品名	制作年 (西暦)	材質	所蔵先	展示期間
1	狩野探幽	三十六歌仙図額 (神部神社本、 県指定文化財) より6点 (柿本人丸、 凡河内躬恒、中納言家持、猿丸大夫、 斎宮女御、三條院女蔵人左近)	寛永11年 (1634)	板絵金箔地着色	静岡浅間神社	前期 / 後期
2	狩野探幽	三十六歌仙図額 (麓山神社本、 県指定文化財) より8点 (柿本人麿、 中納言家持、業平朝臣、斎宮女御、 紀貫之、小野小町、信明朝臣、中務)	寛永11年 (1634)	板絵金泥地着色	静岡浅間神社	前期 / 後期
3	狩野栄信(伊川)	桐松鳳凰・月夜葡萄図屏風	享和2年-文化13年 (1802-16)	表：紙本金地着色 裏： 紙本金地墨画	静岡県立美術館	前期 / 後期
4	平井顕斎	山水図	嘉永1年 (1848)	絹本淡彩	静岡県立美術館	後期
5	平井顕斎	山水図	安政3年 (1856)	紙本墨画淡彩	静岡県立美術館	前期
6	福田半香	李白観瀑図	天保12年 (1841)	絹本着色	静岡県立美術館	前期
7	福田半香	山水図	嘉永3年 (1850)	絹本墨画	静岡県立美術館	後期
【洋風表現の移入】						
8	司馬江漢	駿河湾富士遠望図	寛政11年 (1799)	絹本油彩	静岡県立美術館	前期
9	司馬江漢	駿州薩陀山富士遠望図	文化1年 (1804)	絹本油彩	静岡県立美術館	後期
10	川村清雄	静物写生	明治8年 (1875)	紙、鉛筆	静岡県立美術館	後期
11	川村清雄	海底に遺る日清勇士の髑髏	明治32年 (1899)以前	板、漆、油彩	静岡県立美術館	前期
12	川村清雄	風景	大正2年-昭和2年 (1913-27) 頃	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
13	川村清雄	巨岩海浜図	大正2年-昭和9年 (1913-34) 頃	板、油彩	静岡県立美術館	前期
14	川村清雄	波	大正2年-昭和2年 (1913-27) 頃	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	後期
15	五姓田義松	富士	明治38年 (1905)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
16	平木政次	富士	明治30年 (1897)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
【静岡で育まれた画家】						
17	和田英作	朝日富士	大正6年 (1917)	キャンヴァス、油彩	個人蔵	全期
18	和田英作	薔薇 (白)	昭和11年 (1936)	キャンヴァス、油彩	個人蔵	全期
19	和田英作	日本平望嶽台	昭和14年 (1939)	キャンヴァス、油彩	個人蔵 (寄託品)	全期
20	和田英作	写生帖 (天女)	制作年不詳	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
21	和田英作	写生帖 (三保の富士)	大正5年 (1916)	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
22	和田英作	写生帖 (富士・佐野)	大正9年 (1920)	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
23	和田英作	写生帖 (富士・河口湖)	昭和8年 (1933)	紙、鉛筆	静岡県立美術館	後期
24	和田英作	写生帖 (富士・吉田)	昭和12年 (1937)	紙、鉛筆	静岡県立美術館	後期
25	和田英作	写生帖 (逢妻河畔)	昭和20年 (1945)	紙、鉛筆	静岡県立美術館	後期
26	近藤浩一路	東山粟田口	大正14年 (1925)	紙本墨画	静岡県立美術館	前期
27	近藤浩一路	富士山	昭和10-20年代 (1940-50頃)	紙本墨画	静岡県立美術館	後期
28	近藤浩一路	冬林双鴨	昭和20年代 (1950頃)	紙本墨画	静岡県立美術館	後期
29	栗原忠二	セントポール	大正5年 (1916) 頃	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
30	栗原忠二	ロンドン郊外	制作年不詳	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期

	作者名	作品名	制作年 (西暦)	材質	所蔵先	展示期間
31	栗原忠二	道頓堀の夕	大正13-14年 (1924-25)頃	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
32	栗原忠二	帆船	制作年不詳	紙、水彩	静岡県立美術館	後期
33	中村岳陵	婉膩水韻	昭和6年 (1931)	紙本着色	静岡県立美術館	後期
34	中村岳陵	爽秋	昭和10年 (1935)	絹本着色	静岡県立美術館	前期
35	中村岳陵	かきつばた	昭和29年 (1954)	絹本着色	静岡県立美術館	前期
36	中村岳陵	残照	昭和36年 (1961)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
37	中村岳陵	磯	昭和40年 (1965)	絹本着色	静岡県立美術館	後期
38	中村岳陵	写生画 / 紅梅	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
39	中村岳陵	写生画 / 春蘭	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
40	中村岳陵	写生画 / 椿	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
41	中村岳陵	写生画 / せんぼんしめじ	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
42	中村岳陵	写生画 / 斑椿	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	後期
43	中村岳陵	写生画 / あおじ	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	後期
44	中村岳陵	写生画 / 朝顔	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	後期
45	曾宮一念	工部大学	明治44年 (1911)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
46	曾宮一念	芝浦埋立地	大正2年 (1913)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
47	曾宮一念	風景	大正中期 (1920頃)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
48	曾宮一念	梨畑道	大正13年 (1924)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
49	曾宮一念	冬日	大正14年 (1925)	キャンヴァス、油彩	常葉美術館	全期
50	曾宮一念	種子静物	昭和9年 (1934)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
51	曾宮一念	八つ残雪	昭和15年 (1940)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
52	曾宮一念	麦秋	昭和16年 (1941)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
53	曾宮一念	スペインの野	昭和43年 (1968)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
54	曾宮一念	毛無連峯	昭和45年 (1970)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
55	柏木俊一	道	大正期 (1912-26)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
56	柏木俊一	海と畑と森	昭和9年 (1934)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
57	高島達四郎	漁師の家	昭和33年 (1958)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
58	高島達四郎	伊豆下田港	昭和51年 (1976)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
59	徳岡神泉	雨	昭和39年 (1964)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
60	野島青茲	工房	昭和18年 (1943)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
61	野島青茲	診察室	昭和23年 (1948)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
62	野島青茲	博物館	昭和24年 (1949)	紙本着色	静岡県立美術館	後期
63	野島青茲	塑像	昭和27年 (1952)	紙本着色	静岡県立美術館	後期
64	青木達弥	薄	昭和16年 (1941)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
65	青木達弥	城跡	昭和35年 (1960)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	前期
66	青木達弥	石の花	昭和37年 (1962)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	前期

	作者名	作品名	制作年 (西暦)	材質	所蔵先	展示期間
67	青木達弥	古い寺院	昭和49年 (1974)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	後期
68	青木達弥	塔	昭和55年 (1980)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	後期
【海外に飛躍した画家】						
69	北川民次	トラルパムにて	昭和3年 (1928)	キャンヴァス、油彩	浜松市美術館	全期
70	北川民次	タスコの祭	昭和12年 (1937)	キャンヴァス、テンペラ	静岡県立美術館	全期
71	北川民次	瀬戸十景 (表紙) 工場の一角	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	前期
72	北川民次	瀬戸十景 (1) 窯小屋	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	後期
73	北川民次	瀬戸十景 (2) 土堀り場	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	前期
74	北川民次	瀬戸十景 (3) 煙突のある風景	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	後期
75	北川民次	瀬戸十景 (4) 夜の工場	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	前期
76	北川民次	瀬戸十景 (5) 工場のなか	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	後期
77	北川民次	瀬戸十景 (6) ろくろを廻す男	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	前期
78	北川民次	瀬戸十景 (7) 山の中の窯場	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	後期
79	北川民次	瀬戸十景 (8) 窯入れ	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	前期
80	北川民次	瀬戸十景 (9) 窯焼き	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	後期
81	北川民次	瀬戸十景 (10) 瀬戸市街	昭和12年 (1937)	紙、リノカット	静岡県立美術館	前期
82	北川民次	風景	昭和19年 (1944)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
83	北川民次	雑草の如く (裸婦)	昭和24年 (1949)	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	全期
84	北川民次	母子像	昭和32年 (1957)	紙、リトグラフ	静岡県立美術館	前期
85	北川民次	紫の花	昭和35年 (1960)	紙、リトグラフ	静岡県立美術館	後期
86	北川民次	グロキシニア	昭和37年 (1962)	ガラス、油彩	浜松市美術館	全期
87	北川民次	楽士A	昭和37年 (1962)	ガラス、油彩	浜松市美術館	全期
88	北川民次	横たわる裸婦とバッタ	昭和46年 (1971)	紙、エッチング、手彩色	静岡県立美術館	後期
89	秋野不矩	ガンガー (ガンジス河)	昭和54年 (1979)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
90	秋野不矩	廻廊	昭和59年 (1984)	紙本金地着色	静岡県立美術館	前期
91	秋野不矩	ブラーミンの家	昭和59年 (1984)	紙本着色	静岡県立美術館	前期
92	秋野不矩	たむろするクーリー	昭和59年 (1984)	紙本金地着色	静岡県立美術館	前期
93	秋野不矩	ウダヤギリ	平成4年 (1992)	紙本着色	静岡県立美術館	通期
94	秋野不矩	雨雲	平成12年 (2000)	紙本着色	個人蔵	後期
95	秋野不矩	ガンガー	平成12年 (2000)	紙本着色	個人蔵	後期
96	秋野不矩	ティレム人の住居跡	平成12年 (2000)	紙本着色	個人蔵	後期
97	秋野不矩	砂漠のガイド	平成13年 (2001)	紙本着色	個人蔵	後期
【水彩画の展開】						
98	石川欽一郎	田舎の早春	明治末年頃 (1907-12頃)	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
99	石川欽一郎	台湾の町	明治40年以降、大 正以前 (1907-12頃)	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
100	石川欽一郎	海辺 (早川海岸)	昭和10年 (1935) 頃	キャンヴァス、油彩	静岡県立美術館	後期

	作者名	作品名	制作年 (西暦)	材質	所蔵先	展示期間
101	石川欽一郎	駿河湾	昭和14年 (1939) 頃	絹、水彩	静岡県立美術館	後期
102	石川欽一郎	銚子港 (利根川付近)	昭和14年 (1939) 頃	紙、水彩	静岡県立美術館	前期
103	石川欽一郎	神域より天の香具山を望む	昭和15年 (1940) 頃	紙、水彩	静岡県立美術館	後期
104	赤城泰舒	ギターを弾く少年	昭和3年 (1928)	紙、テンペラ	静岡県立美術館	前期
【浮世絵から創作版画へ】						
105	小林清親	海運橋 (第一銀行雪中)	明治9年 (1876)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
106	小林清親	東京新大橋雨中図	明治9年 (1876)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
107	小林清親	今戸有明楼之景	明治12年 (1879)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
108	小林清親	東京両国百本杭暁之図	明治12年 (1879)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
109	小林清親	高輪牛町臙月景	明治12年 (1879)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
110	小林清親	本町通夜雪	明治13年 (1880)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
111	小林清親	橋場の夕暮	明治13年 (1880)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
112	小林清親	神田八雲神社暁	明治13年 (1880)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
113	小林清親	五本松雨月	明治13年 (1880)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
114	小林清親	御茶の水雪	明治13年 (1880)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
115	小林清親	大川端石原橋	明治13年 (1880)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
116	小林清親	柳原夜雨	明治14年 (1881)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
117	小林清親	本所御蔵橋	明治14年 (1881)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
118	小林清親	浅草夜見世	明治14年 (1881)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
119	小林清親	浅草寺年乃市	明治14年 (1881)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
120	小林清親	神田川夕景	明治14年 (1881)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
121	小林清親	浅草田甫太郎稲荷	明治14年 (1881)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	後期
122	小林清親	駿河湖日没の富士	明治12年 (1879)	紙、木版、色摺	静岡県立美術館	前期
123	小泉癸巳男	芝浦臨港埠頭八ネ上げ橋	昭和5年 (1930)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	前期
124	小泉癸巳男	明治神宮 雪の朝	昭和6年 (1931)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	後期
125	小泉癸巳男	春の動物園	昭和9年 (1934)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	前期
126	小泉癸巳男	離宮 (旧東宮御所)	昭和9年 (1934)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	後期
127	小泉癸巳男	神宮外苑絵画館	昭和10年 (1935)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
128	小泉癸巳男	淀橋区新宿風景	昭和10年 (1935)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	後期
129	小泉癸巳男	日暮里諏訪神社の見晴し	昭和11年 (1936)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	前期
130	小泉癸巳男	千住 末廣町風景	昭和12年 (1937)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	後期
131	小泉癸巳男	兜町・取引所街	昭和12年 (1937)	紙、木版	個人蔵 (寄託品)	前期
132	小泉癸巳男	冬の猿橋	昭和13-16年 (1938-41)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
133	山口源	春来る丘	昭和17年 (1942)	紙、多色木版	静岡県立美術館	前期
134	山口源	夏の午後	昭和18年 (1943)	紙、多色木版	静岡県立美術館	後期
135	山口源	明治神宮	昭和20年 (1945)	紙、多色木版	静岡県立美術館	前期

	作者名	作品名	制作年 (西暦)	材質	所蔵先	展示期間
136	山口源	湧玉池	昭和20年 (1945) 頃	紙、多色木版	静岡県立美術館	前期
137	山口源	失題 (りんご)	昭和22年 (1947)	紙、多色木版	静岡県立美術館	後期
138	山口源	能役者	昭和33年 (1958)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
139	山口源	同棲	昭和37年 (1962)	紙、多色木版	静岡県立美術館	後期
140	中川雄太郎	巴川の夕景	昭和6年 (1931)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
141	中川雄太郎	高松風景	昭和6年 (1931)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
142	中川雄太郎	上海事変のニュースを聞く人々	昭和7年 (1932)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
143	中川雄太郎	海水浴	昭和7年 (1932)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
144	中川雄太郎	車内	昭和7年 (1932)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
145	中川雄太郎	神戸港風景	昭和7年 (1932)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
146	中川雄太郎	酒場の女	昭和7年 (1932)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
147	中川雄太郎	裸婦	昭和7年 (1932)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
148	中川雄太郎	静岡駅前	昭和6-8年 (1931-33) 頃	紙、木版	静岡県立美術館	前期
149	中川雄太郎	焼津の祭	昭和7年 (1932) 頃	紙、木版	静岡県立美術館	前期
150	中川雄太郎	静岡国道にて	昭和7年 (1932) 頃	紙、木版	静岡県立美術館	後期
151	中川雄太郎	工場へ行く道	昭和8年 (1933)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
152	中川雄太郎	百姓家のせど	昭和8年 (1933) 頃	紙、木版	浜松市美術館	前期
153	中川雄太郎	絵の前	昭和9年 (1934)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
154	中川雄太郎	裸婦	昭和9年 (1934)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
155	中川雄太郎	肥車の老爺	昭和10年 (1935)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
156	中川雄太郎	画房小憩	昭和10年 (1935)	紙、木版	浜松市美術館	後期
157	中川雄太郎	街角	昭和11年 (1936)	紙、木版	静岡県立美術館	後期
158	中川雄太郎	自画像	昭和16年 (1941)	紙、木版	静岡県立美術館	前期
159	中川雄太郎	米穀増産協議会	昭和17年 (1942)	紙、木版	浜松市美術館	前期
160	中川雄太郎	黄昏	昭和30年 (1955)	紙、木版	浜松市美術館	後期
161	中川雄太郎	野の花	昭和33年 (1958)	紙、木版	浜松市美術館	前期
162	中川雄太郎	年輪 (顔)	昭和36年 (1961)	紙、木版	浜松市美術館	後期
163	中川雄太郎	不二	昭和39年 (1964)	紙、木版	浜松市美術館	前期
164	中川雄太郎	慈愛	昭和43年 (1968)	紙、木版	浜松市美術館	後期
165	中川雄太郎	村祭り	昭和45年 (1970)	紙、木版	浜松市美術館	前期
166	中川雄太郎	切石の詩	昭和48年 (1973)	紙、木版	浜松市美術館	後期

展示期間 (前期: 2 / 1 ~ 3 / 3、後期: 3 / 5 ~ 3 / 31)